

2008 JUNBA SUMMIT on Promotion of Industry-Academia-Government Collaborations toward the Year 2025
January 10, 2008 at Hyatt Regency, Santa Clara, CA, USA

有機的国際産学官連携の推進

2008年1月10日

庄子哲雄

東北大学

研究・国際交流担当理事

産学官連携推進本部/国際戦略機構/
特定領域研究推進支援センター/米国代表事務所

2008.01.10. JUNBA

国際化の一層の推進

- 全ての分野で国際化が必須
 - 教育
 - 研究
 - 社会貢献
 - 産学官連携
- 「国際化」の有する多様な機能の活用
 - 人材養成
 - 研究推進
 - 成果の社会還元
 - 国際産学官連携と付随する多様な課題

国際化の一層の推進

- 教育（例示）
 - グローバルスタンダード
 - 学生交流及び長期留学
 - ダブルディグリー及びジョイントディグリー（M, D
 - 大学間学生及び博士学生の研究インターンシップ
 - 海外インターンシップ（短期：オープンアイ、長期：成果）
 - 海外企業インターンシップ（選抜：博士修了生
キャリアパス多様化事業との連携も視野）

国際化の一層の推進

- 研究(例示)
 - 国際共同研究
 - 国際受託研究
 - 国際連携事業
 - 知財活用による共同研究の増加
 - 研究人材交流及び企業人材交流
 - マネージメント人材不足(特に国際M人材)
 - コーディネーター人材の不足(特に国際C人材)
 - 多様な研究協力の中でのOJT

国際化の一層の推進

- 社会貢献(例示)
 - 研究成果の社会還元
 - 国際社会還元(安全、医療等)
 - 国際産学又は国際官学連携事業
 - 知財取り扱いの専門人材の不足
 - 国際契約の専門人材の不足
 - 国際連携事業の中でのOJT

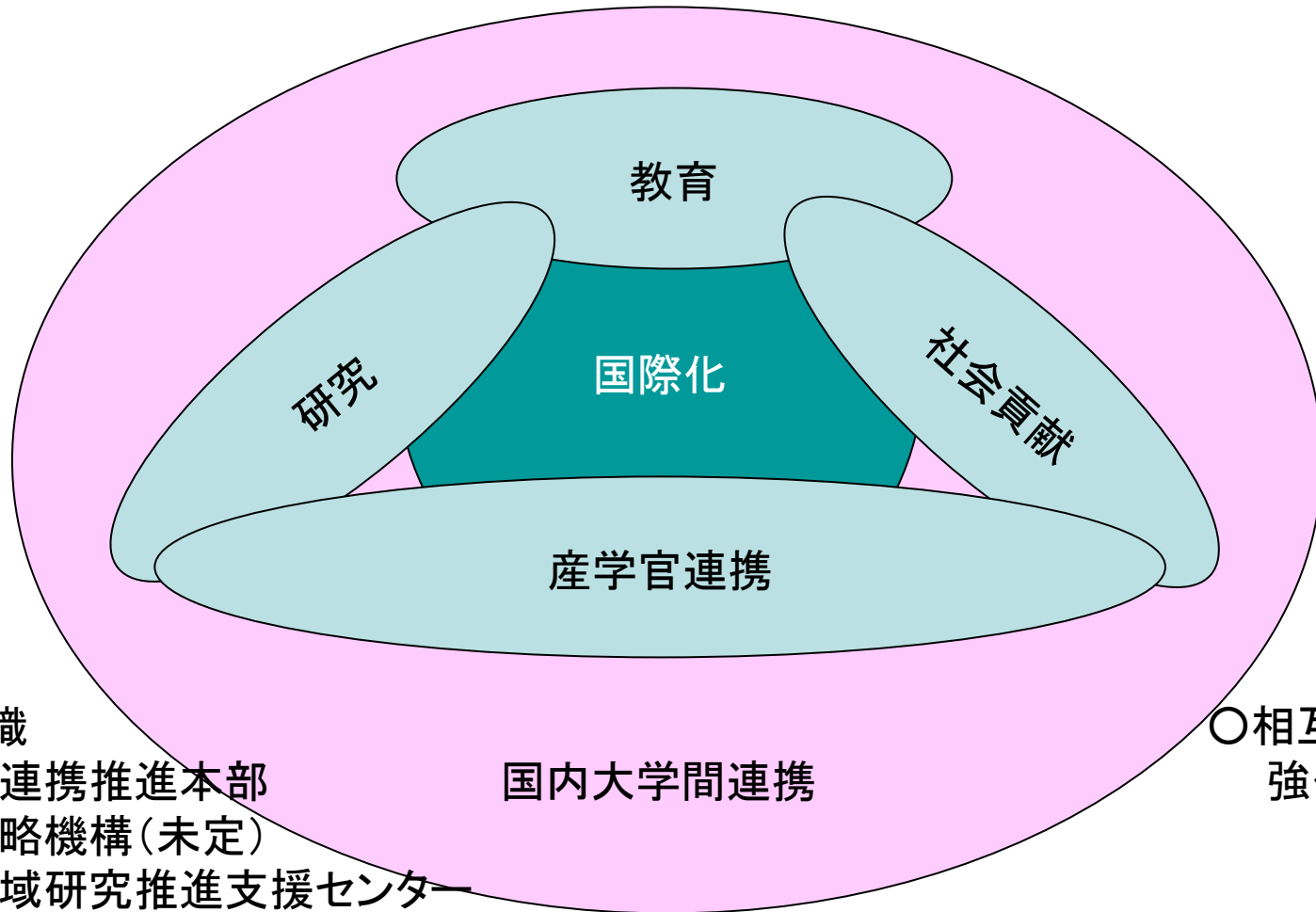
国際化の一層の推進

- 産学官連携（例示）
 - それぞれの役割の明確化
 - シナジー効果の見せ所
 - 成果帰属と優先（排他的）ライセンスング
 - コンソシアム形成
 - 社会的要請の高い課題解決型国際連携

国際化の一層の推進

- 「国際化」推進とその多様な機能の最大活用
 - 人材育成
 - 研究推進及びビジネー期待
 - 成果の国際社会還元(専門人材育成のOJT)
 - 国際産学官連携と付随する多様な課題
 - 中長期的課題解決型連携の推進
 - 国際的に多様(学術、産業、経済、政策等)な情報の収集・分析と集積
 - 国内外との大学との連携強化の重要性の増加

有機的国際産学官連携の推進



○関係組織

産学官連携推進本部

国際戦略機構(未定)

特定領域研究推進支援センター

米国代表事務所(NYを含む)

中国代表事務所

その他

国内大学間連携

○相互に機能

強化する有機性

2008.01.10. JUNBA

東北大学国際産学官連携推進(有機的連携に向けて)(案)

